

よなか ふしぎ わ
 世の中には不思議で分かりづら
 いことがたくさんあります。自然、
 科学、歴史など、詳しい先生に解き
 明かしてもらいましょう。

知りたい好奇心



©原ゆたか / ポプラ社

川の水質調べる管理者 個人で探る取り組みも

皆さんの家の近くを流れて
 いる川には管理者がいて、川
 の水質が監視されていること
 を知っていますか？

用途で目標

水は上流から下流に下
 りながら、さまざまな用途に
 使われています。例えば、田
 んぼに川から水が引かれてい
 るのは、農業用水として使
 われているという事です。

そこで、国や県は大きな川の
 水の用途からその水質目標
 を決めていて、それが守られ
 ているかどうかを調べるため
 に、決まった調査地点の水
 質を、ほぼ毎月調査して公
 表しています。山梨県の場合
 は、県内の53地点でこのよ
 うな調査が行われています。

一方で、身近な水辺の水質
 を自分たちで調べてみようとい
 う動きもあります。全国水
 環境マップ実行委員会は、
 全国規模で水質調査への参加
 者を募り、毎年環境の日（近
 い6月初めの日曜日）を基本
 に、全国で一斉に調査をしよ
 うと呼び掛けています。

測っているのは気温や水温
 の他、水の汚れの程度を示す
 指標である化学的酸素要求
 量(COD)ですが、これは測
 定キットを使うと5分ほどで
 結果が出ます。小学生から
 お年寄りまで、自分の手で調
 べてみたい川の水の様子を知
 ることができます。大勢の人
 が参加すれば、国や県の調
 査よりきめ細かく、地域の水
 の様子を知ることができま
 す。

結果を公表

このような調査の結果を見
 るときに気を付けなければい
 けないことは、「川の水は変
 化する」ということです。調
 べた時と同じ水が1年中流
 れているわけではありませ
 ん。長い間、何度も調べる
 ことが必要で、たぐさんの結
 果が集まって初めて、その川
 の様子が分かってきます。自
 分たちで調べた山梨県内の川
 の水質調査結果については、
 Yamanashiみずネッ
 トが長年の結果を公表してい
 ます。これらの結果のほか、
 調査時期の天気の様子は気

象台のデータから集められ
 ます。夏休みの自由研究な
 どとして、それぞれのデー
 タを組み合わせ、水質が変化
 した理由を考えてみるのも面
 白いですよ。

紹介した団体やデータな
 どは以下のホームページに掲
 載されています。

全国水環境マップ実行委員
 会 (<http://www.japan-mizumap.org/>)

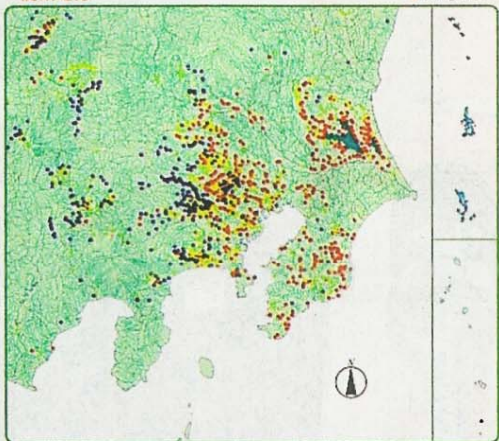
山梨県公共用水域および
 地下水の水質測定結果 (<http://www.pref.yamanashi.jp/faiiki-sui/sokutei.html>)

Yamanashiみずネ
 ット (<http://www.ymizune.org/mizunet/modules/mizudb2/>)

甲府気象台気象統計情報
 (<http://www.jma-net.go.jp/kofu/menu/report.html>)

(山梨大学大学院総合研究部
 生命環境学域教授・大学院国
 際流域環境研究センター教授
 風間ふたむ)

関東地方



凡例
 ● COD 0~3mg/L未満
 ○ COD 3~6mg/L未満
 ● COD 6mg/L以上

自然をまもる川で今年「水たし」が実施されました。ここに、20年おまついんですが、90%
 以上です。この成果がすつと変わればいいですね。おかげさまで水質調査実施科目(水)は続々と増え、1か所1か所と増えたいと願っています。
 昨年同様、甲府県内各地(山梨県)は続々と増え、1か所1か所と増えたいと願っています。
 昨年同様、甲府県内各地(山梨県)は続々と増え、1か所1か所と増えたいと願っています。
 昨年同様、甲府県内各地(山梨県)は続々と増え、1か所1か所と増えたいと願っています。

昨年の全国一斉調査の結果。関東地域で比べると山梨県の河川はきれいなところが多いことが分かります(全国水環境マップ実行委員会ホームページより)



昨年6月の甲府盆地の調査結
 果。甲府盆地の中の様子がより
 詳しく分かります。Yaman
 ashimiみずネットホームペー
 ジより)